

食料産業局長賞

福島鰹株式会社(京都府京都市)

【主な品目】

加工食品(鰹節、まぐろ節、いわし節、さば節、あご節、あじ節、煮干、昆布等)

【主な輸出先国・地域】

北米、韓国、台湾、タイ、シンガポール、ベトナム、マレーシア、豪州、香港、インドネシア、フィリピン、オセアニア、中東等

【輸出取組の概要】

- 平成23年から本格的に輸出に取り組み、現在、米国、韓国、台湾、ベトナム等へだし原料を輸出。現地へ積極的に赴き、顧客の要望に沿ったきめ細やかな商品開発を実施。
- ムスリム市場への販売を目指し、本業態で初めてハラール認証を取得。マレーシアMIHAS(ハラールフーズ展示会)等に参加し、ムスリム市場の需要拡大を目指す。
- 平成26年7月に米国現地法人を設立し、安定市場の拡充を図る。

【輸出実績】(平成23年から輸出開始)

年	削り節(t)	煮干(t)	昆布(t)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	147.0	4.5	5.8	157.3	通年
平成27年度	129.5	3.9	4.6	138.0	
平成26年度	59.4	2.3	3.5	65.2	



輸出に取り組んだきっかけ

- ・ 日本特有の食文化である「和食」の基本となる調味料として古来より親しまれている「だし」の原料である削り節は、近年、人口の減少やライフスタイルの変化により国内の消費量が減少している状況にあり、新たな消費市場の開拓を進めるため、平成23年に輸出を開始し、海外への営業活動を強化していきました。
- ・ また、平成26年には新工場を設立し、マレーシアやインドネシアといったムスリム市場へも輸出を行うため、この業態では日本で初となるハラール認証を取得しました。

取り組む際に生じた課題

- ・ 業務用の削り節メーカーのため、各国での認知度が低く、当社の信用を得るまでが大変でした。
- ・ また、削り節は営業許可証を必要としない業種であるため、輸出国によっては通関に必要な衛生管理を担保する書類が出せないという課題が生じました。
- ・ さらに、海外での販路拡大に当たり、海外のお客様の求める味を提供するため、現地のバイヤーや商社に営業を委託するわけにはいかず、社員が海外各地に直接赴き、プロモーションや個別店舗への営業を行い、現地からの要望をもとに味作りを行う必要がありました。
- ・ また、マレーシアやインドネシア等に進出した外食企業から供給を求める声がありましたが、イスラム教国家に削り節を輸出するには、製造工場のハラール認証を取得する必要がありました。



水産食品加工施設HACCP認定
一般社団法人 大日本水産会



工場の外観



取扱商品

生じた課題への対応

- ・ 各国のイベントへ積極的に展示会に参加したほか、これまで培ってきた国内のレストランや料亭向けの営業ノウハウを活かして、各国別の営業担当者を決め、削り節の使用方法を提案し、お客様のニーズに合う味になるように、お客様ごとに削り節の配合割合を変えるなどの丁寧な営業を実施しました。
- ・ 味作りに当たっては、サンプルによる味作りを行い、海外のお客様の要望をもとに原料のブレンドや本社とのやり取りを通じ、最終サンプルチェックという流れで作り上げていきました。
- ・ また、各省庁を始めとする行政機関の協力やアドバイスを心得、通関に必要な書類を取得することができました。
- ・ さらに、平成26年の工場の新設を機に、この業態で初めてマレーシアやインドネシア向けのハラール認証を取得しました。

対応の結果

- ・ 販路が確保されたことにより、輸出額の増加や安定した取引につながり、通年の供給体制が確立され、今後の売上の柱としての期待が持てるようになり、輸出品の知名度や京都ブランドとしての会社自体の価値が上がり、国内評価も向上しました。
- ・ 味の確認と要望に添った地道な味作りで確実にユーザーを増やしており、要望や意見を生産者にフィードバックする仕組みを構築し、更なる高品質の製品造りに役立てるとともに、商品の品質を維持するために原料を等級ごとにブレンドし、味のブレが生じないよう努めています。
- ・ また、ハラール認証の取得により、削り節のマレーシア、インドネシア、中東などのムスリム諸国への輸出が拡大しました。

今後の課題・展望

- ・ 平成26年7月に米国現地法人を設立し、安定した市場の足固めを進めています。
発展市場が期待される東南アジアや中東ムスリム圏地域への展開を強化するとともに、販売先となりうる海外進出する日本食の的外食企業をサポートし、海外需要の増加とだし文化普及の取組を強化していきます。
- ・ 更なる販売促進活動として、マレーシアのMIHAS(ハラールフーズ展示会)やロサンゼルスのふるさと物産展等各国の展示会に積極的に参加し、需要拡大を目指しています。



マレーシア食品展示会(MIHAS)に出展

【活用した支援・施策】 6次産業プロジェクト戦略事業補助金
ふるさと名物応援事業補助金

【ウェブサイト】<http://www.fukushima-k.kyoto>

【連絡先】福島鯉株式会社 担当:細辻/棕田 (代)TEL:075-211-2940